

令和3年(三)第449号

債権者 石地 優 外8名

債務者 関西電力株式会社

上 申 書

令和4年5月16日

大阪地方裁判所第1民事部 御中

債務者代理人 弁護士 小 原 正 敏



債務者は、御庁の令和4年4月26日付「争点項目案【修正版】の送付について」に基づき、同日付「争点項目案【修正版】」の項目ごとに、債務者の主張に係る疎明資料を記載した書面を別紙のとおり提出致します。

なお、債務者は疎明資料を必要な範囲で極力厳選して提出しており、結果として主要な疎明資料でないといえるものはごく限定的でした。そこで、別紙には疎明資料を網羅的に記載したうえで、主要なものに下線を付す形式としております。また、疎明資料は多数に上ることから、次の3つに分類、整理して記載致しました。

- ①の分類：新規制基準に係る法令・基準・ガイド，原子力発電所の安全確保に係る民間規格，原子力災害対策に係る指針等（法令等の改正に関する議事録等を含む）
- ②の分類：原子力規制委員会に係る美浜発電所3号機の許認可関係（申請書，審査会合資料，審査書等）
- ③の分類：その他（論文，意見書等を含む）

以 上

項目	疎明資料（主要なものに下線を付している）
<p>第1 被保全権利</p>	
<p>1 司法審査の在り方（判断の枠組み） 債権者ら：申立書第10章（100～104頁） 債務者：答弁書第4章（27～37頁）</p>	<p>(①の分類) ・ <u>乙16</u> (③の分類) ・ <u>乙13</u>, <u>乙14</u>, <u>乙15</u>, <u>乙17</u>, <u>乙18</u></p>
<p>2 地震等によって重大事故が発生する危険性</p>	
<p>(1) 判断に当たり考慮すべき事情</p>	
<p>ア 高経年化 債権者ら：申立書第6章、準備書面（1）、 準備書面（5） 債務者：主張書面（5）、主張書面（8）</p>	<p>(①の分類) ・ <u>甲26</u>, <u>乙173</u>, <u>乙187</u>, <u>乙188</u>, <u>乙189</u>, <u>乙193</u>, <u>乙194</u>, <u>乙195</u>, <u>乙202</u>, <u>乙203</u>, <u>乙205</u>, <u>乙210</u>, <u>乙212</u>, <u>乙214</u>, <u>乙215</u>, <u>乙219</u>, <u>乙225</u>, <u>乙226</u>, <u>乙227</u>, <u>乙228</u>, <u>乙229</u>, <u>乙230</u>, <u>乙231</u>, <u>乙232</u>, <u>乙234</u>, <u>乙236</u>, <u>乙237</u>, <u>乙238</u>, <u>乙239</u>, <u>乙240</u> (②の分類) ・ <u>乙19</u>, <u>乙53</u>, <u>乙55の2</u>, <u>乙57</u>, <u>乙58</u>, <u>乙175</u>, <u>乙185</u>, <u>乙186の1</u>, <u>乙186の2</u>, <u>乙186の3</u>, <u>乙190</u>, <u>乙191</u>, <u>乙192</u>, <u>乙196</u>, <u>乙213</u>, <u>乙220</u>, <u>乙221</u>, <u>乙223</u>, <u>乙224</u>, <u>乙233</u> (③の分類) ・ <u>乙56の1</u>, <u>乙56の2</u>, <u>乙197</u>, <u>乙198</u>, <u>乙199</u>, <u>乙200</u>, <u>乙201</u>, <u>乙204</u>, <u>乙206</u>, <u>乙207</u>, <u>乙208</u>, <u>乙209</u>, <u>乙211</u>, <u>乙218</u>, <u>乙222</u>, <u>乙235</u>, <u>乙241</u>, <u>乙242</u></p>
<p>イ 耐震安全性の余裕 債権者ら：申立書第7章第3（54頁）、準備書面（4）第2章第1（3～12頁） 債務者：主張書面（1）第4章（181～212頁）、主張書面（4）第2章第1（6～8頁）、主張書面（9）第2章第1（5～18頁）</p>	<p>(①の分類) ・ <u>甲26</u>, <u>乙16</u>, <u>乙112</u>, <u>乙113</u>, <u>乙115</u>, <u>乙116</u>, <u>乙243</u> (②の分類) ・ <u>乙55の2</u>, <u>乙90</u>, <u>乙163の1</u>, <u>乙163の2</u>, <u>乙163の3</u>, <u>乙163の4</u>, <u>乙163の5</u>, <u>乙163の6</u>, <u>乙163の7</u>, <u>乙163の8</u>, <u>乙175</u>, <u>乙223</u>, <u>乙224</u>, <u>乙244</u>, <u>乙246の1</u>, <u>乙246の2</u>, <u>乙247</u>, <u>乙248</u> (③の分類) ・ <u>乙99</u>, <u>乙110</u>, <u>乙111</u>, <u>乙114</u>, <u>乙117</u>, <u>乙118</u>, <u>乙119</u>, <u>乙120</u>, <u>乙121</u>, <u>乙245</u></p>

<p>(2) 新規制基準の合理性及び同基準への適合性</p> <p>ア 原子炉建屋の変位のおそれのない地盤への設置の有無</p> <p>債権者ら：申立書第7章第4(55～60頁)、準備書面(4)第2章第2(12～14頁)</p> <p>債務者：答弁書第7章第2の4(96～106頁)、主張書面(2)、主張書面(9)第2章第2の1(18～20頁)</p>	<p>(①の分類)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・甲26, 乙16, 乙26 <p>(②の分類)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・乙19, 乙24, 乙25, 乙55の2, 乙122, 乙123, 乙249の1, 乙249の2, 乙249の3 <p>(③の分類)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・乙124, 乙125, 乙126の1, 乙126の2
<p>イ 基準地震動の策定の合理性</p> <p>(ア) 内陸地殻内地震の震源位置に関する考慮</p> <p>債権者ら：申立書第7章第5(60～64頁)、準備書面(4)第2章第3(14～18頁)</p> <p>債務者：主張書面(1)第3章第1の2(30～75頁)、主張書面(4)第2章第2(8～13頁)、主張書面(9)第2章第2の2(20～23頁)</p>	<p>(①の分類)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・甲25, 甲26, 甲32の1, 甲89, 乙164, 乙165 <p>(②の分類)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・甲24, 乙19, 乙55の2, 乙92, 乙95, 乙166 <p>(③の分類)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・甲33, 乙91, 乙93, 乙94
<p>(イ) 使用する経験式の適切性</p> <p>債権者ら：申立書第7章第7(66～71頁)、準備書面(2)、準備書面(4)第2章第5(22～37頁)</p> <p>債務者：主張書面(1)第3章(25～180頁)、主張書面(4)第2章第4(22～65頁)、主張書面(9)第2章第2の4(30～41頁)</p>	<p>(①の分類)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・甲25, 甲26, 乙16, 乙20, 乙29, 乙104, 乙108 <p>(②の分類)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・甲24, 乙19, 乙55の2, 乙92, 乙95, 乙97, 乙182 <p>(③の分類)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・甲36, 甲37, 乙13, 乙14, 乙23, 乙86, 乙89, 乙91, 乙93, 乙94, 乙96, 乙98, 乙99, 乙100, 乙101, 乙102, 乙103, 乙105, 乙106, 乙107, 乙109, 乙176, 乙177, 乙178, 乙179, 乙180, 乙181, 乙183, 乙184, 乙252の1, 乙252の2, 乙253, 乙254

<p>(ウ) 繰り返しの地震の考慮 債権者ら：申立書第7章第6(64～66頁)、準備書面(4)第2章第4(18～22頁) 債務者：主張書面(4)第2章第3(13～22頁)、主張書面(9)第2章第2の3(23～30頁)</p>	<p>(①の分類) • 甲25, 甲26, 乙16, 乙112, 乙113, 乙115, 乙173, 乙174, 乙187, 乙188, 乙216 (②の分類) • 甲24, 乙19, 乙90, 乙175, 乙196 (③の分類) • 乙167, 乙168, 乙169, 乙170, 乙171, 乙172, 乙250, 乙251</p>
<p>3 避難計画の不備</p> <p>(1) 避難計画の不備による人格権侵害の具体的危険性 債権者ら：申立書第5章(34～35頁)、同第8章第1(72～80頁) 債務者：主張書面(3)第2(6～15頁)、主張書面(9)第2章第3(42～44頁)</p>	<p>(①の分類) • 乙130 (③の分類) • 乙13, 乙14, 乙127の1, 乙127の2, 乙128, 乙255</p>
<p>(2) 本件避難計画の不備の有無 債権者ら：申立書第8章第2(80～97頁) 債務者：主張書面(3)第3、第4(15～49頁)</p>	<p>(①の分類) • 乙16, 乙130, 乙132 (③の分類) • 甲61, 乙129, 乙131, 乙133, 乙134, 乙135, 乙136, 乙137, 乙138, 乙139, 乙140, 乙141, 乙142, 乙143, 乙144, 乙145, 乙146, 乙147, 乙148, 乙149, 乙150, 乙151, 乙152, 乙153の1, 乙153の2, 乙154, 乙155, 乙156, 乙157, 乙158, 乙159, 乙160, 乙161, 乙162の1, 乙162の2</p>
<p>第2 保全の必要性 債権者ら：申立書第9章第2(99頁) 債務者：</p>	